

意匠性金属板保護フィルム

木材製品購入運動の植林プロジェクト

意匠性金属板保護フィルム
の販売、加工を手掛ける
城山（本社・名古屋市中東
区、社長・加藤隆介氏）は、
間伐材を活用した木材の自



感謝状を受ける田川阪
和工材社長（左）、加藤城
山社長

期間中に 最多購入 阪和工材に感謝状

環境負荷低減、CSR後押し

を購入、活動に寄与したス
テンレスコイルセンター大
手・阪和工材（本社・大阪
市淀川区、社長・田川竜介
氏）に感謝状を贈呈し、活
動への貢献をたたえたと
もに環境負荷低減に向けた
同社の取り組みについて認
識を共有した。

城山は2007年から、

24年にはSdウッドの販売の社会的責任を前広に
売量に応じてユーカリ種苗展開する。昨年にはSDG
木を同国バリ州へ植える「Sdウッドdeつながる
プロジェクト」をキックオフ。取引先とともに環境
での排出削減目標設定にも
注力している。

かねてSdウッドを吉川
工場、足利工場、久喜配送セ
ンターで使用していたが、
26本の新たな植樹が決ま
る。今年3月まで半年間
実施したキャンペーンで

アジア植林友好協会を通じ
てインドネシアへ植林する
プロジェクト「生命の森づ
くり」プロジェクトに参画
している。この活動を背景
として、スキッドや木箱な
どに使用する木材の独自製
品の「Sdウッド」の販売を
18年に始めた。

「Sdウッド」の販売を
の回収、廃スキッドの再利
用といったCSR活動（企
業）は「スモールス
タート」、「全員参加型」
「できることから」を旗印
に、近年足利工場近隣公園
間で最も多くSdウッド
を購入した。

7月6日には阪和工材本
社で田川社長をはじめとす
る阪和工材役員、加藤社長
など城山の社員が出席の
下、感謝状贈呈式を執り行
った。

席上、田川社長は「CO₂
削減に向けた取り組みの糸
口が思うように見出せな
かった中で、プロジェクトに
参加するチャンスを与えて
いただき感謝している。S
dウッドを購入することで
環境貢献できることを社員
にも知らせたい」と述べた。

両社はCSR活動やカー
ボンニュートラル実現への
取り組みについて認識を共
有するとともに、意見交換
を行った。